

書籍紹介

「理科力をきたえるQ&A／きちんと答えられる大人になるための基礎知識」 佐藤勝昭／サイエンス・アイ新書／SoftBank Creative

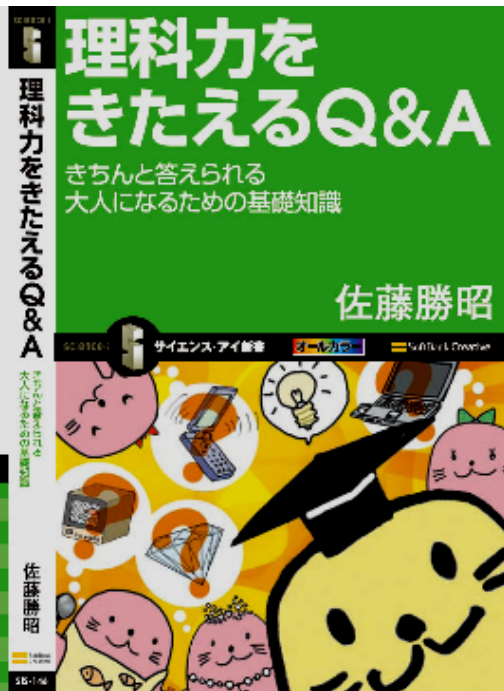
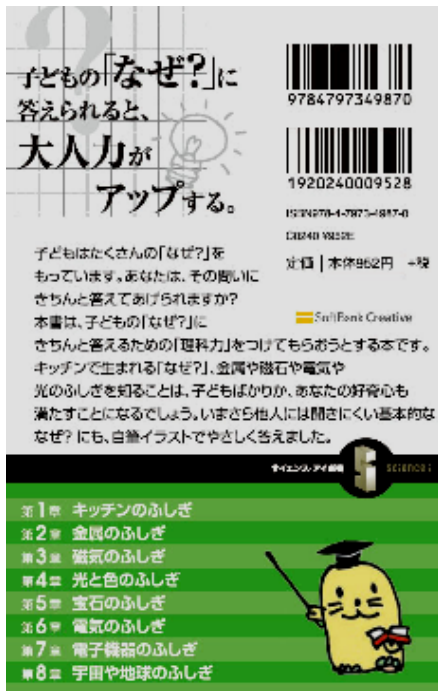
(紹介者) 駒場東邦中高等学校／井上 賢

ここに紹介するのは、2009年12月に、ソフトバンククリエイティブ(株)から「サイエンス・アイ新書」として発刊された、「理科力をきたえるQ&A」である。著者の佐藤勝昭氏(工学博士)は、1966年に京都大学大学院修士課程を修了後、日本放送協会に勤め、1984年から東京農工大学において、研究と教育にあたった。2007年には同大名誉教授となり、JST(科学技術振興機構)さきがけ「次世代デバイス」研究総括を勤められているようである。(経歴については、本書表紙カバーの著者紹介より引用)

井上氏が初めてお目に掛かったのは、物理教育学会入試検討委員会(現在は同関東地区連絡会が主催)が毎年5月に開催している「入試懇談会」へ東京農工大学からの出席者としてご参加頂いたときである。その後、同会へは何度かご出席頂き、その都度、会の終了後の「延長戦」にも必ず参加して頂いたこともあり、いろいろと話を聞かせて下さったと共に、積極的に情報交換に参加して下さった。これらの出会いをきっかけとして、APEJとしても、2005年の秋に、氏の研究室を訪問する企画を実施させて頂いた。(この際には、残念なことに、井上は確か、参加できなかった。)

昨年初め、「著者謹呈」として、ソフトバンククリエイティブより、この本をお送り頂いたのだが、氏へお礼を申し上げることもせぬまま、1年以上が過ぎてしまった。気楽に読める編集形式でも有り、パラパラと読み進めるにつけ、皆さんに紹介する価値のある書籍と感じるようになった次第である。

本書は、「きちんと答えられる大人になるための基礎知識」とのサブタイトルを冠している。著者による「はじめに」の中では、「子供の「なぜ？」に答える」ことの価値について言及している。本編では、この目的に外れることなく、実に多くの「Q」に対し、氏の専門を活かしつつも、専門的になり過ぎることなく、子供を意識したレベルで大人に説明「A」を行っている。APEJ会員諸氏においては、専門的にも極めて聡明な方も多いため、本書の説明に対し、テーマによっては、少しばかり不足感を覚えるものもあるかも知れない。しかしながら、全体を通じて、先ずは「短く」、各テーマに対して適切にコメントされると感じる。著者及び出版者の目的(ターゲット)は、「子供に答える大人」であるが、井上としては、授業の幅を拓げる「ネタ」の宝庫に思えた。



さて、本書の内容と構成を、少しばかり具体的に紹介しておこう。基本的には、実際の子供たちの「質問」を数多く集め、その中から、氏の得意分野を中心に、8つの章に分類した「Q&A」としてまとめている。上の写真は、ソフトバンククリエイティブ「サイエンス・アイ Web」(→ <http://sciencei.sbcr.jp/>) から拝借した、本書の「表紙カバー」であるが、ここに、その8つの章が参照できる。その8つの章に挙げられる「ふしぎ」は、右の8つである。それらの中に展開される個々の各テーマとも、ふんだんなイラストを盛り込みつつ、長くても2ページ程度、多くは1ページに収めている。順に読み進めても面白く、理解が深まるであろうが、パラパラとめくって気になったテーマだけ拾い読みしても十分に理解でき、面白い。章としての大きなテーマに分類されているので、授業で扱っている内容に即したトピックスを拾い出すのも容易であり、この点が、井上が「ネタ」の宝庫と感じた所以でもある。

- | | |
|-----|-----------|
| 第1章 | キッチンのふしぎ |
| 第2章 | 金属のふしぎ |
| 第3章 | 磁気のふしぎ |
| 第4章 | 光と色のふしぎ |
| 第5章 | 宝石のふしぎ |
| 第6章 | 電気のふしぎ |
| 第7章 | 電子機器のふしぎ |
| 第8章 | 宇宙や地球のふしぎ |

なお、本書のイラストはすべて、洋画家でもある著者、佐藤氏の手によるものである。氏は、物理、工学の他に、画の方面においてもご活躍である。

以上、他にも多くの著書を持つ佐藤勝昭氏であるが、氏の今後のご活躍を期待しつつ、皆さんに紹介をさせて頂いた次第である。